

初學訓

		和書門	
二	五	九	二
一	九	八	二
五	三	八	二
冊	架	函	號

庫文閣内		和	
二九〇	二〇五五		
函	冊		
一七	五		
架	冊		
内閣文庫			
番號	和	20552	
冊數	5 (2)		
函號	190	360	



初学割卷之二

貝原篤信著



父母と養ふに養志と養神との二あり養志とは
父母の心を志さうしてけうくつらひつひに父母乃
く志せり故に朝早く起れて父母の安居
をうめひ夕に父母の寢る所中をじし朝夕と
晝とおく父母よもみえくうそくねるを
かすにむしきく志て又うやまふく父母に

初学割卷之二

〇一

そのゆるいなまらつまる顔かほの色とやりけ言
乃顔とよろこりくし父母の氣體こたい乃安否と
うかひ其時日の要用と云のべり同い世
の中れあつし事をもつまらつる物より
多し父母の公とちくさり父母乃をくあは
けしんてまきつて父母りまじといひむらる
くひつてまきつて物とらるる父母まれ
うそく命とら事あつはけしんてまきつ
多くともやくひるるゆるやんといふ事

つとるるゆるいゆるい事あつる事あつる
てはゆるいゆるい事あつる事あつる
まは父母とまはるる公失つて年一はけ
ゆるい父母をゆるい事あつてゆるい父母は對
ゆるいゆるいゆるい事あつる事あつる
顔色と事あつるゆるいのゆるいゆるい
く父母乃をゆるい事あつてゆるいゆるい
ゆるい其をゆるい事あつる物とらるる親とあつる
樂しゆるい其志とゆるい事あつるゆるい父母

う對しておこるうするは樂しむ父母のよりこ
つるは悦入へりものむる人としらうくやん
久しとお對するはものうく舞やうおほひて
退屈しうあうくやんひ若しむいお教二な
うかけらる也丈夫者といふへり孟子よん孝
の身とむるは父母とむるやうやうなり是
いけるは對父母とむるは父母一生の間
失はる也慕の字身をむるは父母とむる
うは又外へ出まへり必父母はむるは婦とむる

必先父母よんみんくはりのあは退く行く
あそよ常の處わりてんうはゆるとあよ
はのりさありてれさうはゆる身の行と
つしとけりて不義を禮乃行なく氣
どつふて放逸やうりされく悪友のまり
はして父母よんことむるひあうらむひは是
養志やうり

養體といふ父母の口腹身體と中よりよん
家の力よんはまはは飲食と味くその

父母の好む物をしてすむべし富貴の
 人乃子も然るや飲食とわんごし其味乃
 よし物とひえころしめてりたることあり
 ひとし又夏冬やりくの身にふるる衣服を
 おしらてこれとともち居而寢る^{ちんしん}とあり
 せめ冬は温^{ぬく}よ夏は涼しく風寒暑湿とぬ
 べた身にふるる調度^{てうど}もろくのうらひの
 事くげさるるにそのことじへしむを父母
 の身と考ふよの飲食衣服居室器物^{ぶつ}を

不足なくするにあり子る者是とてぬ
 けていともしへしむるにふるるに年を
 ての脾胃よく元氣よりけさの飲食の
 養をむらりゆるに財わりの日々に味は
 物をとめずんのかうに古人の詩よ人生
 有禄親白歌何結一日^{ヒト}無^ム其饌又曰古人
 一日養不^レ以^テ三公^ノ換^スといふ又却人の体氣
 よりたゆ風を暑湿よやうとやと其
 ふまをよとさしへくとも飲食と風を暑

渥^く中^{ちゆう}う^う終^{しゆう}て節^{せつ}小^{せう}を^をう^うる^るの^のと^とこ^こ一^一ありと
い^いふ^ふも痛^{いた}と^となり^りて害^{がい}成^{じやう}る^ると^とる^るの^の大^{だい}なりお
こ^こら^らた^たく其^{その}神^{しん}を^をあ^あや^やく^く一^一行^{ぎやう}立^{たつ}坐^ざ卧^わは
は^はの^のよ^よを^を成^{じやう}つ^つま^まて^てた^たと^とけ^けこ^こり^り一^一是^ぜ禮^{れい}と
中^{ちゆう}一^一なり^り也^や父母^{ふぼ}は^は仕^しつ^つる^るに^に志^し成^{じやう}成^{じやう}る^ると^と體^{たい}を^を
成^{じやう}る^るの^の二^にあり^り也^や孝^{かう}の^の道^{だう}約^{やく}つ^つれ^れと^と内^{ない}
ハ^ハ成^{じやう}教^{きやう}乃^の二^にと^とる^るも^も外^{がい}ハ^ハ養^{やう}志^し養^{やう}體^{たい}
乃^の二^にと^と約^{やく}一^一是^ぜ成^{じやう}教^{きやう}の^のを^を成^{じやう}て^て父母^{ふぼ}と
成^{じやう}る^る孝^{かう}の^の道^{だう}ち^ちり^り只^{ただ}體^{たい}と^と成^{じやう}る^るの^の一^一は^は志

と中^{ちゆう}なり^りこれ^{これ}い^い孝^{かう}ハ^ハ其^{その}身^み無^む禮^{れい}不^ふ義^ぎと
約^{やく}い^い父母^{ふぼ}を^を成^{じやう}一^一ハ^ハ成^{じやう}る^る日^{にち}に^にい^いつ^つた^たは
味^{あじ}た^た口^{くち}腹^{ふく}の^の成^{じやう}い^いと^と一^一じ^じと^と不^ふ孝^{かう}也^や一^一
ハ^ハ内^{ない}外^{がい}二^に乃^の事^じ成^{じやう}る^ると^と一^一され^れい^い孝^{かう}の^の道^{だう}ハ^ハ
是^ぜ人^{にん}の^の子^こと^と成^{じやう}る^る孝^{かう}の^の必^{かならず}ち^ちり^りて^てけ^けと^と成^{じやう}
約^{やく}一^一ハ^ハ成^{じやう}る^る也^や

もし父母の身に過^{あやまち}ありし子なる者^{もの}の教^{しゆく}を
悦^{よろこ}び^びめ^め成^{じやう}と^と成^{じやう}る^る言^{こと}成^{じやう}ゆる^るや^やあり^りて^て中^{ちゆう}
一^一ハ^ハ成^{じやう}る^る一^一父母^{ふぼ}ハ^ハ成^{じやう}る^ると^と成^{じやう}る^る一^一ハ^ハ成^{じやう}る^る也^や

ふらふらとせしめしめて父母のまをさく
つらにせしめしめて父母のまをさく
むしとせしめしめて父母のまをさく
らふらふら

わがも孝の道ハ父母の存生^{そんせい}は回^{まわ}りては
のころは父母死してはせしめてはく
わらじりとあつてはせしめてはく
わらじりとあつてはせしめてはく
わらじりとあつてはせしめてはく

をけりて行をせしめてはく
先と父母のまをさくはく
わらじりとあつてはせしめてはく
わらじりとあつてはせしめてはく
わらじりとあつてはせしめてはく
わらじりとあつてはせしめてはく
わらじりとあつてはせしめてはく
わらじりとあつてはせしめてはく
わらじりとあつてはせしめてはく
わらじりとあつてはせしめてはく

皆君恩によりてけとくを衣服居室器物
 系乃財用を皆是君の才を徳のなるを
 其恩甚大なりつひ其恩を以て言ふ
 つらに云ふはめを君よけり人いひてみ
 君のよめは忠臣乃を志して私をけり
 身と久つとる事なり終の
 君みちのあつた諫しつゝ君の電まと失ひんるはた
 それてつひの身と終つて私とつゝは君とい
 こしむるに君乃無といひあつたつゝ言ひをけ

あつていひあつたつゝは君の公れあつた
 不ゆつたはるあり奉つたを終つたを
 ねじりめあつたつゝはよれつゝ及ん
 一歩動とれは其諫入中とて是物といひ
 小徳とよりとるの理ありあつたつゝは
 よりのいさめ入つたつゝは君のいさめ
 さしむるよはあり其はとまらんとて
 君臣父子の大倫なり故に忠孝乃二の
 らんをけんとつゝはつひのつゝは

徹乃志ありても其道を志し以て正理を
 行ひしうし辨よ忠孝のこよ志いありとも其
 道を志ししうし忠が不忠なり孝も不孝
 よなりあよ辨るる孝の道とよく孝い其
 法と志りて行ふる古人の學問の忠と孝
 とは行ふ所なりといつり弟皆ありといつた
 忠孝乃道とすとい君子とすといは
 夫婦の別と道と守別とい内外美賤のより
 ちありて混^えれでさる也夫婦ハ子孫乃相

けくあふして人倫のりち也夫の外とあさめ
 婦ハ内^は也^はま^は婦^はに^は禮^は義^は正^はく^は婦^はハ
 夫^はと^は和^は吹^はた^はる^はし^は然^はる^はふ^は別^は志^はと^はさ^はた^はは^はる^は
 也^はを^は教^はと^は和^はと^は混^は失^はる^はハ^は其^は道^はと^はは^は婦^は人
 多^はく^はの^は思^はち^はり^は道^はよ^はち^はら^はつ^はと^は人^は正^はと^はと^は
 いろ^はく^はし^はい^はう^は純^はの^は和^はを^は失^はふ^は
 兄弟ハ同胞^はの^は志^はと^は父母^はよ^はつ^はき^はつ^はる^は天^は倫^は
 たり^は三^は親^はの^は内^は父子^は夫婦^はより^はは^はる^は
 久^はき^はの^は兄弟^はたり^は其^は志^はと^は久^はき^は

樂しむし兄弟にあふくやい兄弟を致
あつては兄弟の才あつては彼をそと
うすくは兄弟の才い兄弟をそと不致
なりくは兄弟の道とあつて兄弟は
はそそをそとあつて兄弟の子をれい我
の子よりあつて

朋友は位公あつては兄弟は兄弟を
いふしは兄弟の道なりは兄弟をそと
いふ兄弟は兄弟の道にありは

又朋友の才のりけありて難われいお勉を患
われい相救ふては兄弟の才い兄弟をそと
そありけふては兄弟の才い兄弟をそと
さうあつて兄弟は兄弟の道にありは
凡人偏の道朋友の才い兄弟の才い
て立り理るは兄弟の才い兄弟の才い
道と教ゆり師も亦朋友の内をそと
君父と同く是より技藝乃師の道は
しはらる師の才い兄弟の才い兄弟をそと

厚くとも凡人倫の高下親疎あれども皆
まが一類されし仁愛少く情ありてはとめて
あつて終へし聖人の教ゆる所學者の學よ
亦人の道と云る所皆人倫あり人倫にう
と死に情あり不仁の人なり人道を失つる也
人倫よまらるふはけりあつてあつてとてうす
くともうす或けり死よあつたれとおつてみ
うすともかひ人よまらる道と失つる也君子
乃まの久く志くよくあつて凡人よま

らるる四恩あり又四孝と云天地之恩父母乃
恩る君之恩聖人乃恩也天地は生の神なり
我と云らん我と中かひ終へた孝なり父母の
生れ奉ゆる君の養の奉也聖人の教の奉也
天地よわくされし生告れけり母は父母はわ
されし生れとる君よわくされし告れとる聖
人よわくされし教ちくして人乃道を志し
書紙よるん學問とる人いしはる聖人乃恩
わつし書紙よはるる人もむやよの孝とく

君よの忠と人まき事とあり兄弟の忠と夫婦の
 別と志わらるは天地の良知されど又志うあらず
 聖人の教あまのくつきの日の卒ゆく傳りたる
 赦されはまき事乃人も聖人乃恩うたれ事
 をさうへいけ四恩の人の幸也人なる者つひふ
 ちうらひてけり人なるは身とねくるまきけ
 とめで其恩と必報と人まき事也四恩はうたれ
 人倫よの必恩はうたれ人なりけりうらうら
 今の世うらうら人死世にわらぬ活世にあらは

大なる幸あり恩世に活れ終ふ大君の御あり
 見也大君のまき事人の天地と大父母ととらるる如
 して君の上なる大君君たり其神威徳よ
 よりて世にまき事つきの身安樂にけ世よとめで
 は恩亦四民よのふ大恩をわらわら其神あり
 三徳ありてけりうらうら
 いあへり死世の何んかさくふ力ある者つひに干
 戈と事うて志いへ我よのそと力たれ者
 糧をけくそて何と山林よりあげくる一日を

安堵の思ひを是と思ひて今の太平は清代
 乃安穩あんゑんありて無事なるは樂しむべし
 農工商の君は是とて其困那とお
 ころ給ふ君恩は是とて其困那とお
 みよよりては太平の樂とて其困那とお
 うべし

困乏は是とて其困那とお
 是民の父母され其困下とて其困那とお

情少くあはれを有らざる一人の樂は專ら
 して民とて其困下とて其困那とお
 民も亦其困下とて其困那とお
 父母の如く其困下とて其困那とお
 仁あり下の上は是とて其困下とお
 あり下義あり上下和合し困乏平安あり
 一條肉大旨の奇ふ民やとて其困下とお
 あり君恩は是とて其困下とお
 ぬくちる人し君恩ありとて其困下とお

君の徳也はるふりてくをうとふくも
 元人よ義理わり利害わり義理の天道にたふ
 て仁義のふとたふらぬ傷の道とゆふと云利害
 の仁義よは各其家業とつとめ衣食居る所求
 けりといふまこと好て身と求ふと云義理ハ公
 忠の財利の身を求ふ元人の日夜いふまじつ
 事は二の介にこれか一御らの義理のふと求ふ
 いたりておのり利害の身と求ふハ義理はくされ
 けりといふは二は^{くわん}恒定と求りて義とくふは利をい

一は一義と貴の利とつとむる君子乃のふ也
 利と貴の義とつとむる小人のふ也君子小
 人の別ハ義と利との間あり
 好む人のおむ事多くとつとも其大なる
 事二あり一は富貴とこのむ二は長生
 このむ一は義理とこのむは乃恒定わり
 富貴といひのむより長生とこのむは好む長生
 をこのむより義理をこのむは乃一人の好む
 不乃恒定をのほりておむれぬなるのそり

このひも道理の程も亦自づの如く
此より下りたるは皆是とこのまゝの人なり
はくは知らざる皆是とこのまゝの人なり
まの富貴とこのひより長生は此のひ事
なりとははらざるや富貴といふ禄多と云
富と云位もたゞ貴と云富は國土は命の
貴と云國主とありは富も命の命也り
人ありてんらに命は命と云命と云命と
一と云命と云命と云命と云命と云命と

いなる愚人もこのひと云命と云命と
命と思ふ者ありは命大富貴と云命と
命と云命と云命と云命と云命と云命と
富貴とこのひより長生は此のひ事なり
あはれや
長生は此のひより義理と云命と云命と
いふは君と云命と云命と云命と云命と
と云命と云命と云命と云命と云命と
道と云命と云命と云命と云命と云命と

不_レ魚_レの友と_レは_レ備_レし_レ我_レし_レ乃_レ又_レ何_レ友と_レ見_レ持_レて
お_レげ_レ去_レ来_レの士_レを_レと_レる_レ者_レの_レ世_レは_レ是_レ命_レより
義_レ理_レの_レ世_レに_レあ_レる_レや_レ又_レま_レつ_レる_レ縁_レと
得_レて_レ君_レよ_レけ_レる_レ下_レ教_レも_レ主_レ人の_レあ_レい_レの_レら_レを
ま_レつ_レる_レい_レち_レつ_レり_レか_レら_レは_レ一_レ言_レの_レま_レつ_レる_レあ_レと_レを
て_レも_レ義_レよ_レ世_レの_レ世_レに_レあ_レる_レ命_レと_レ持_レる_レあ_レら_レひ
たり_レ國_レ主_レと_レ王_レ位_レよ_レと_レ久_レら_レる_レ世_レの_レ命_レを_レま
と_レも_レ義_レ理_レの_レ命_レより_レも_レけ_レる_レあ_レら_レひ_レも_レあ_レら_レひ
い_レら_レる_レあ_レら_レひ_レも_レ世_レの_レ命_レと_レつ_レた_レ命_レと

持_レて_レ義_レ理_レと_レ約_レし_レ是_レと_レみ_レく_レ長_レ生_レ成_レこの_レま_レよ_レる_レ
義_レ理_レを_レこの_レひ_レら_レの_レあ_レら_レひ_レと_レ志_レす_レく_レ賢_レ人_レ
乃_レと_レは_レあ_レる_レあ_レら_レひ_レは_レ徳_レ人_レ皆_レは_レあ_レら_レひ_レ是_レ人_レの
本_レ心_レなり_レ只_レ賢_レ人の_レ考_レに_レ此_レを_レ成_レ成_レつ_レと_レさ_レら_レひ
よ_レい_レら_レる_レ利_レ害_レの_レ身_レと_レ中_レら_レる_レあ_レら_レひ_レ義_レ理_レの_レ心
を_レ成_レ成_レる_レあ_レら_レひ_レと_レい_レ是_レと_レも_レ也_レ志_レす_レれ_レの_レ義_レ理_レの_レ
あ_レら_レひ_レと_レ利_レ害_レの_レ身_レの_レあ_レせ_レら_レたり_レとい
へ_レも_レ義_レ理_レよ_レく_レあ_レら_レひ_レと_レい_レら_レる_レあ_レら_レひ_レと_レい
て_レ程_レ子_レも_レ義_レ小_レ射_レなり_レと_レい_レら_レる_レあ_レら_レひ_レは_レ義

乃貴をいへり婦人まのをいへりるる也
天下に義なり抑した物なけしむ也志るは
愚者の利害のいふ道とけしむ少の利欲
ふりて大方義理と失ふは是私欲の迷
て本公のいふに本公は夫の知とく
から義理を捨て財利とるは
乃金と捨て一竹の銅とるは
縵を志るる也愚かりとつて
理とこのきふいわれと私欲は
はらひて義理

乃れはたよりとけしむ是本公と失ふは
るる財利をいへりるる也
と捨るは夫のいふに本公は夫の知とく
がてふとてわけるは
人の身れりといふは
ては
わらて人の言つていふは
そは
い



足らぬはいつくは約の帯におこるやう
 不足多しねとてふかきとるふつあま
 つまの程ちかくひつ
 心天官とて身のまに思ひ込て友とす
 耳目は鼻形とて五官とて身はまに目まに
 口は物つひ物心くひ鼻は香心くぎ形は
 心く思ひつとて心も心も思ひつとて心も
 役とつとて心も心も思ひつとて心も
 心乃侍よとの也心も心も思ひつとて心も

りと禁ぐあ友の役とけりしるの心は
 各人の心とけりしる各其官とつひつを
 けりしる心も心も思ひつとて心も
 て心も心も思ひつとて心も
 心も心も思ひつとて心も
 心も心も思ひつとて心も
 心も心も思ひつとて心も
 心も心も思ひつとて心も
 心も心も思ひつとて心も
 心も心も思ひつとて心も

初學訓二

十一

ちりきりして下人より制せしむるや
 送ふして家ねさまりうご
 人乃公の身のまかり公の友のまかりをけの
 さくか思案をけし心乃官と失ひて職を
 免くかり家よるまき軍に大将たり
 ぬし耳目に体の欲しひき進無さるれ乱を
 てねさゆは毎日にはりり身に行き
 来りふか思案しけし言出
 後悔とくは

人のあままりを無とけり皆思案せされ
 かりよく思入る無かり後悔
 なく凡身の終ひの後悔するをさ
 ひらく書紙よん学問してもろく思入され
 道理よ通でとしてめろく思入は得
 孔子も学んで思入されしとのあつ
 古今書紙よし人の多かれと道と知る人務
 かり書とよみくるのめて思入され
 思入よく思入るは通と美の能も只

けつあつるるるるを思案乃つままはせし其
 藝進まよるるめし思のつま其益大かられ
 神よそ人とかりていつひよお教のなとならて
 ちりも夫よつるは忠とい人とあつれしは
 人をあつるるるんせよ也其師らりの志に
 まごうとたふよりそ忠の厚薄品のいれ
 といてうとたふとてよおをいとい
 かりるる一教とい人とてまよとてまよとあがり
 くらんせよ也其位のきうたひまておのり

教の浅深いかにれもすてうまひあがる
 つるは忠い志とてまよら生は教の貴さよ
 生といふもうとたをいも一師といふも教
 といふ真のお教也親疎貴賤とて忠教と
 はい仁也親疎貴賤の品よよりそ厚薄浅深
 わるい義ちりお教乃二の旨をかちる旨と
 こらよといお教とけい也是人傷とて
 乃道即天地よけいなる道也
 人をそはりの同教とてまよとてあつてそ

たふ也是不仁ありて愛たれ也同類とわかて
つかりんばてあいつらよとるの不教たるを
禮也不仁を禮に悪たりむいはいし人
そつとをある理にわらもる道にわ
況況実よるや人とそつは道理にそ
くのそつは必身の猶とちる人とそつ
人も亦我とそつ我天よむひてつた
つゆとそつらつ人一生の恨とある人を
そつとそつ人志はまうとつとつ思
も

千里とゆく理あり壁あり耳ありと思ふべ
あふつきを君上とつはつ大不教ありて其
はつ大つらつ徳よとつ魚の臭大つ雑
君とつらつ人ありて君上とつらつ
つはつんてつとつ身改道よあり
つすんハ國家の政事と議とつらつ
君上のひつとつらつ者ハつて
つらつ古語ハ其國よ居ハ其大まをも
つらつとつは忠厚の道ありつ君と

其はつらつたる事いふよるは
 世に海よりよハ勢と云ふハ勢は死は我
 ぬ理ありてもわらうとわらうと云ふは
 わらうと云ふはつらつたるはつらつたるは
 人を志すつらつたるはつらつたるはつらつたる
 初学訓卷之二

